



2020年8月6日

各 位

会 社 名 日 本 アジアグループ株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 山 下 哲 生
(コード番号 3751 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 西 田 信 一
TEL (03)4476-8000(代表)

2021年3月期 第1四半期 決算説明資料に関するお知らせ

当社はこのたび、「2021年3月期第1四半期決算説明資料」を公開いたしましたので、別紙の通りお知らせいたします。

(別紙)

開示資料

『2021年3月期第1四半期決算説明資料』

以上



2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

2020年8月6日

日本アジアグループ株式会社

証券コード3751

21/3期 第1Q 新型コロナウイルス感染症の影響



セグメント	事業活動への影響	環境の前向きな変化
空間情報	<ul style="list-style-type: none">● 緊急事態宣言に伴う現地測量調査等の制約、発注遅延● 自治体予算のコロナ対応優先（教育、休業支援等へ）● 海外案件の停滞、現地活動の中断	<ul style="list-style-type: none">● 人流データ解析による地域経済分析・モデル調査需要喚起● 移動制限に伴う変動費減で原価率改善
イメージソリューション	<ul style="list-style-type: none">● デジカメ、ドラレコ需要減少に伴う受注台数減● オリンピック延期による各種カメラ販売機会喪失● 自社製品販売、営業活動停滞	<ul style="list-style-type: none">● ウェブ会議用カメラ需要拡大● ゲームキャプチャーの需要増加● 体温測定・AI顔認識カメラ需要増
グリーン・エネルギー	<ul style="list-style-type: none">● 電力小売り事業の需要減● 開発案件の遅延による竣工時期への影響	<ul style="list-style-type: none">● 案件持ち込み、増加
森林活性化	<ul style="list-style-type: none">● 住宅事業では集客力、顧客接触機会、消費マインドの低下● 住宅需要鈍化に伴う製材事業の低迷	<ul style="list-style-type: none">● 自粛明けからの需要回復



2021年3月期 第1四半期 決算概要

21/3期 第1Q 連結決算 要旨



Point1 コロナ禍の影響は限定的！

空間情報事業（除くXacti）と売電事業は順調にスタート

売上高はXacti（ザクティ）減収が主、営業利益は6.6億円改善し3期ぶりに黒字確保

Point2 Xactiは、引き続き経営改革推進中

コスト層見直し、オリジナルブランド製品の開発・販売力を強化

(百万円)	20/3期1Q	売上比 (%)	21/3期1Q	売上比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	20,507	100.0	18,639	100.0	△1,867	△9.1
営業利益	△335	△1.6	324	1.7	660	—
経常利益	△716	△3.5	5	0	721	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△1,719	△8.4	△629	△3.4	1,089	—

21/3期 第1Q連結決算 要旨



売上高

- コロナ禍影響しXactiは大幅減収、明治コンサルタントも影響受け減収
- 孫会社（エオネックス、利水社）譲渡（4/1）は前年比減収要因
- 主力の国際航業とJAG国際エナジーはともに増収を確保し順調

営業利益

- Xacti営業利益△8億円、空間情報全体としては△14億円だが、前年比では5億円改善
- 太陽光発電 売電事業が好調、空間情報のマイナスをカバーし3期ぶり黒字化達成

経常利益

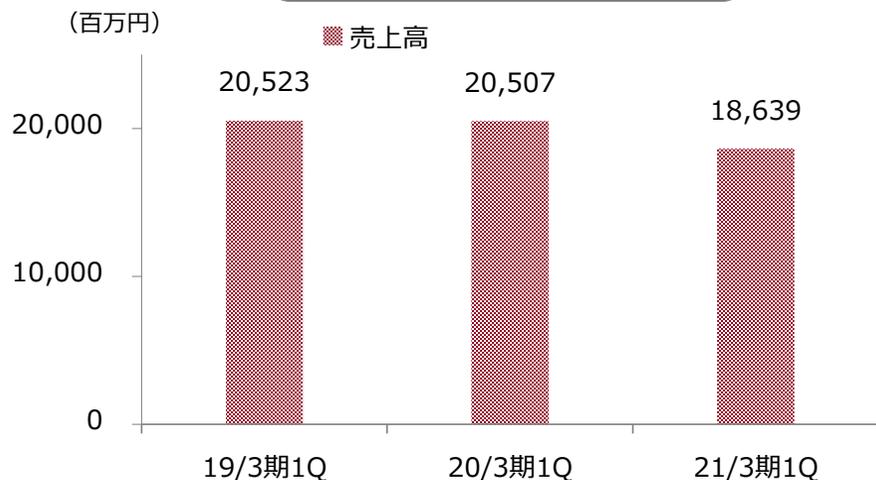
- 主に雇用調整助成金、受取配当金増、支払利息減により、営業外収支は約0.6億円改善

特別利益

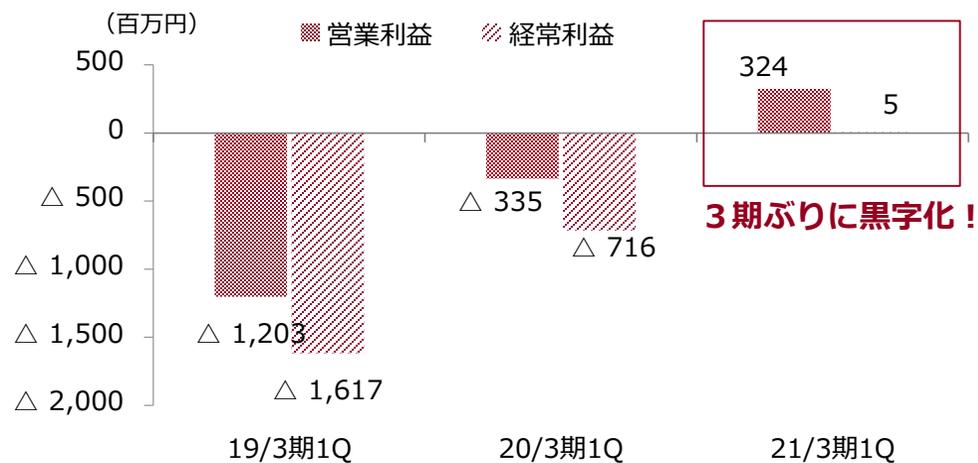
- 孫会社譲渡により、特別利益2.2億円計上

注1) 空間情報事業：国際航業は3月納期案件が多く、Xactiは開発売上が期末に集中するため、第1Qに費用が先行しトータル利益は第4Qに集中する傾向にあります。

売上高の推移



営業利益/経常利益の推移



21/3期 第1Q セグメント別要旨



空間情報事業

- 主力の国際航業（単体）は増収増益を達成、受注は好調、生産効率を維持し順調にスタート
- Xactiの決算は、売上高21億円（△40.6%）、営業損失△8億円、とコロナ禍影響大きいが改革推進継続中

グリーン・エネルギー事業

- 昨年度開発した太陽光発電施設増加、好天による安定した発電量が寄与し増収増益を達成

森林活性化事業

- 森林活性化事業は、コロナ禍影響でKHC減収・減益、JAGフォレストは森林不動産取引支援を育成中

その他

- 海外展開推進に伴い先行費用発生（営業損失△15百万円）

セグメント	(百万円)	20/3期1Q	21/3期1Q	増減額	増減率 (%)
売上高		20,507	18,639	△1,867	△9.1
営業利益		△335	324	660	-
空間情報事業	売上高	12,783	10,335	△2,448	△19.2
	営業利益	△1,956	△ 1,407	548	-
グリーン・エネルギー事業	売上高	4,499	5,362	862	19.2
	営業利益	1,563	1,737	173	11.1
森林活性化事業	売上高	3,215	2,932	△283	△8.8
	営業利益	73	9	△64	△87.7
その他	売上高	8	9	1	18.3
	営業利益	△17	△ 15	2	-

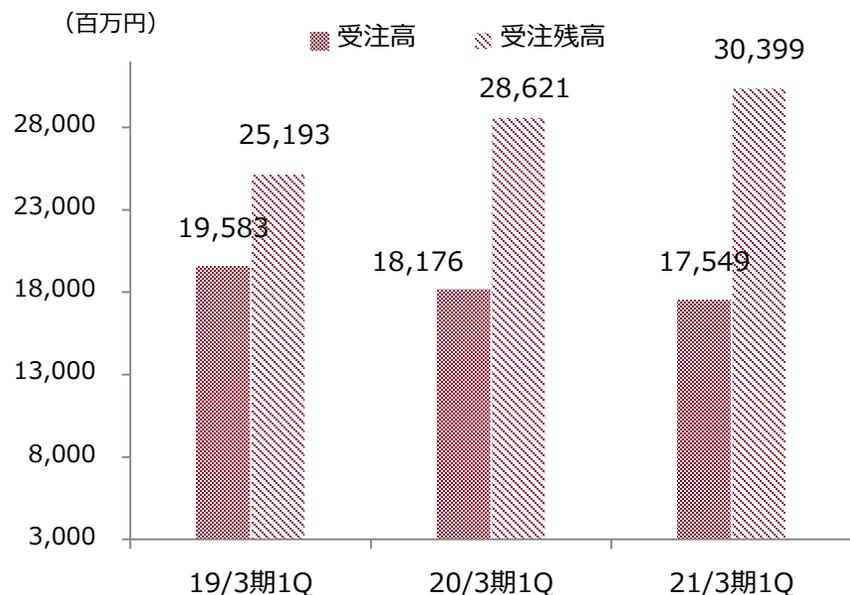
空間情報事業 決算要旨 1



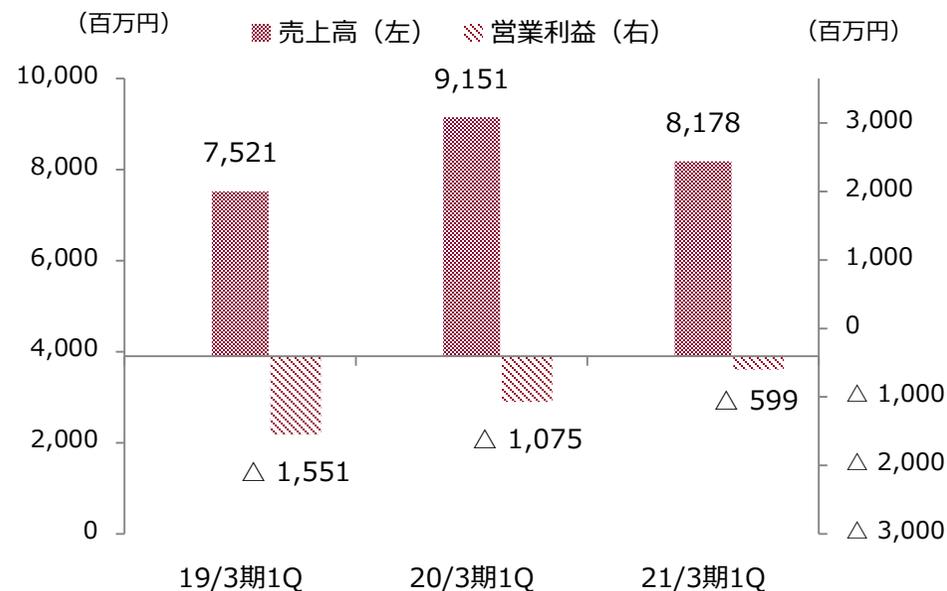
空間情報事業

- 国際航業の受注高は前年同期を上回り好調、明治コンサルはコロナ禍の影響により前年比マイナス
- 受注高は、防災・減災対策、国土強靱化のための公共事業予算執行があり、航空レーザ測量、三次元データ取得、防災・災害対応（地すべり、砂防等）など幅広い分野で順調に推移、受注残高は最高水準
- 売上高は、主力の国際航業は微増収、明治コンサル減収と孫会社譲渡が影響し前年同期比マイナス
- 営業利益は、国際航業の外注費、現地調査費等の原価が改善、出張旅費等の販管費も改善し利益率向上

空間情報（除くXacti） 受注高/受注残高 の推移



空間情報（除くXacti） 売上高/営業利益 の推移



空間情報事業 決算要旨 2



イメージソリューション事業

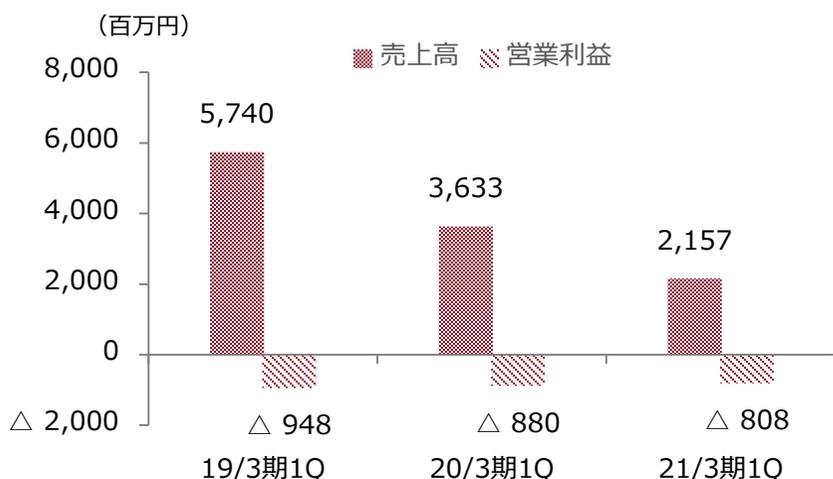
決算

- Xactiの主力OEM事業は、コロナ禍の影響に伴うデジカメ市場の縮小により完成品台数が減少し前年比大幅減収（△40.6%）
- 出荷減に伴う製造経費減少、固定費削減に一層努力し、営業利益は△8億円に留まる
(コロナ禍による業績への影響は今後も注視が必要)

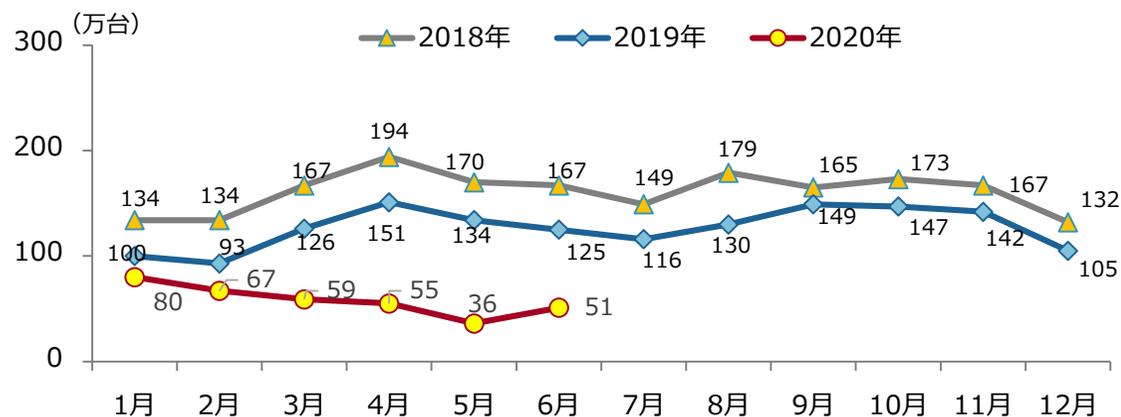
改善策

- オリジナルブランド製品の開発・販売を強化（サブスク型、カメラ卸売型を推進）
- あらたな製品開発を、各メーカーの事情に合わせて企画・提案
- インドネシア工場を有効活用したEMS生産や、「体温測定・AI顔認識カメラ」等の商品販売にも注力

Xacti 売上高/営業利益 前期比較



デジカメ市場 月次出荷台数の推移 前年比較



(カメラ映像機器工業会資料よりJAG作成)

グリーン・エネルギー事業 決算要旨



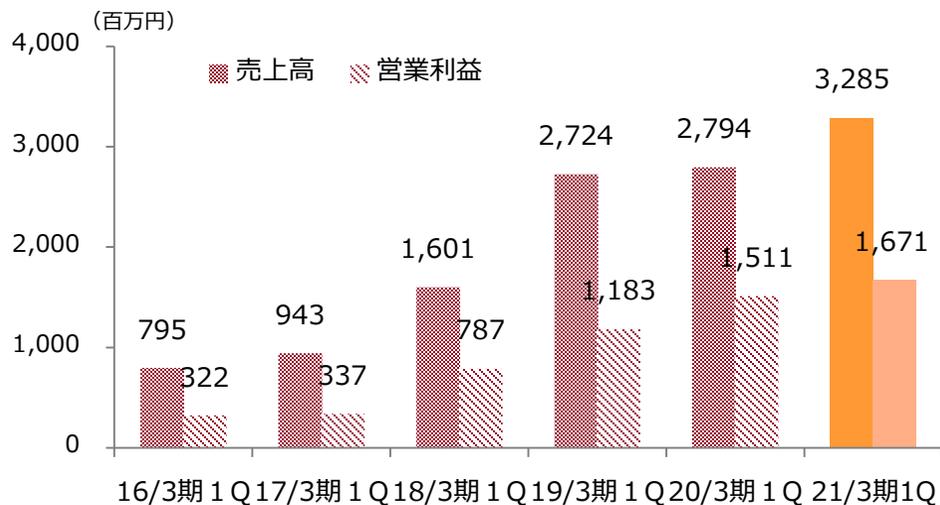
売電事業

太陽光発電所開発は 全国**101箇所**、合計稼働出力**244MW** を超える規模に拡大中

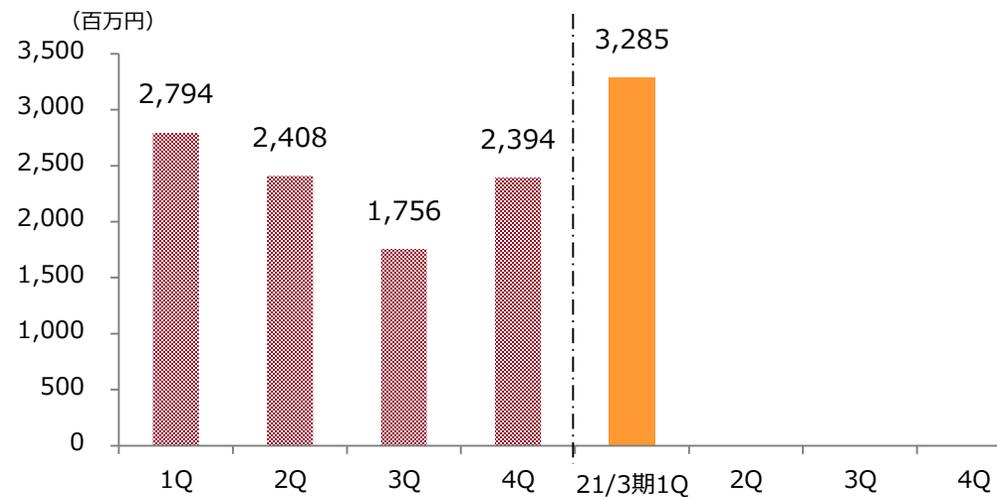
1Q 竣工案件	
SW	MW
名取2	0.7
中井	0.7
伊予	1.0



売電事業 売上高、営業利益の推移（1Q比較）



売電事業 四半期別売上高の推移



森林活性化事業 決算要旨



森林活性化事業

JAG フォレスト

- 収益化に向け徳島三好森林での林業生産継続中
- 「森林.net」は物件情報、取引問合せ増加中

坂詰 製材所

- コロナ禍の影響限定的
- 昨年度加工能力増強、2Q以降巻き返しへ

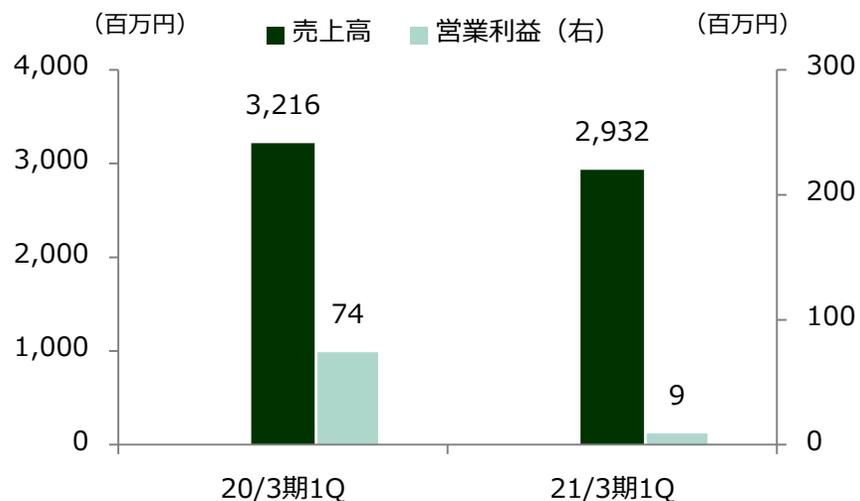
KHC

- コロナ禍の影響で集客不足、受注環境厳しい
- 原価率改善、販管費削減に注力し経営努力

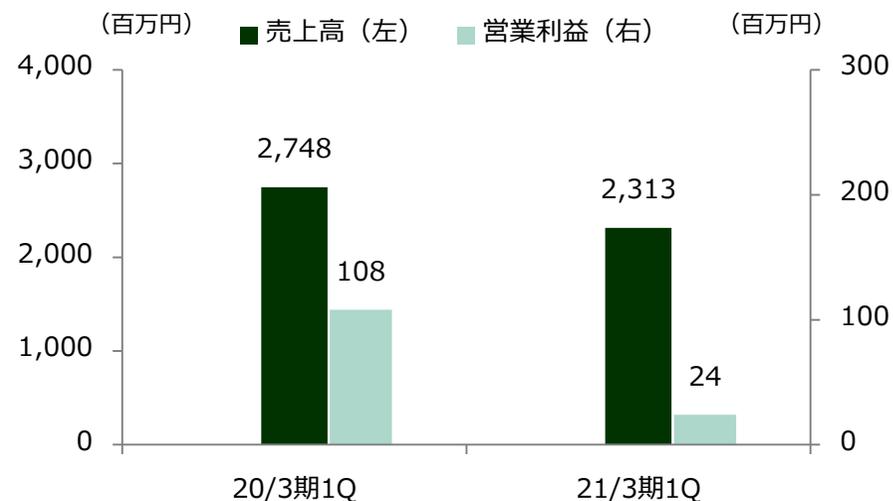
木村 産業

- 2019年10月より連結化し、今期よりフルに寄与
- 売上高、営業利益ともに計画線

森林活性化事業の業績 前年比較



KHCの業績 前年比較

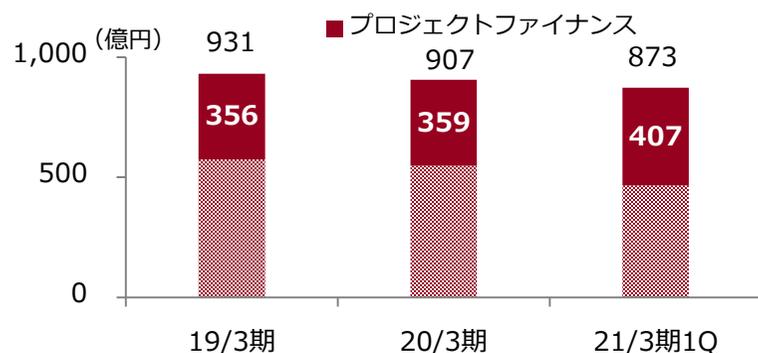


B / S 主な増減要因分析

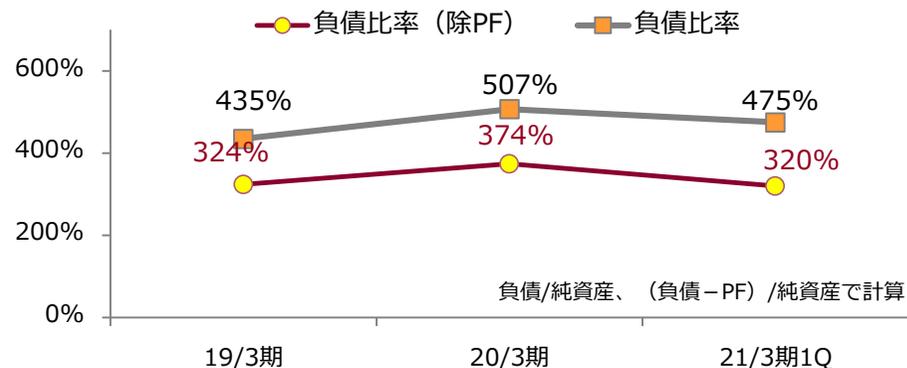


(百万円)	20/3期	21/3期1Q	増 減	主なコメント
流動資産	74,096	63,030	△11,066	
現・預金	25,711	31,715	6,004	
受取手形・売掛金	31,784	13,623	△18,161	期末は高水準だが、第1Qに回収進む
固定資産	87,831	86,980	△850	
有形固定資産	70,485	69,556	△929	
無形固定資産	4,006	3,880	△126	
投資その他	13,338	13,544	205	
資産合計	163,383	151,365	△12,017	
流動負債	51,276	34,569	△16,707	短期借入金返済、未払金決済
固定負債	85,218	90,476	5,258	ソーラーウェイ用プロジェクトファイナンス増
(有利子負債)	90,737	87,399	△3,338	内プロジェクトファイナンス407億円(前期末359億円)
純資産	26,888	26,319	△568	利益剰余金減
負債・純資産合計	163,383	151,365	△12,017	

有利子負債、プロジェクトファイナンスの推移



プロジェクトファイナンスを除く負債比率の推移



トピック1 国際航業の「Wi-Fi人口統計データ」



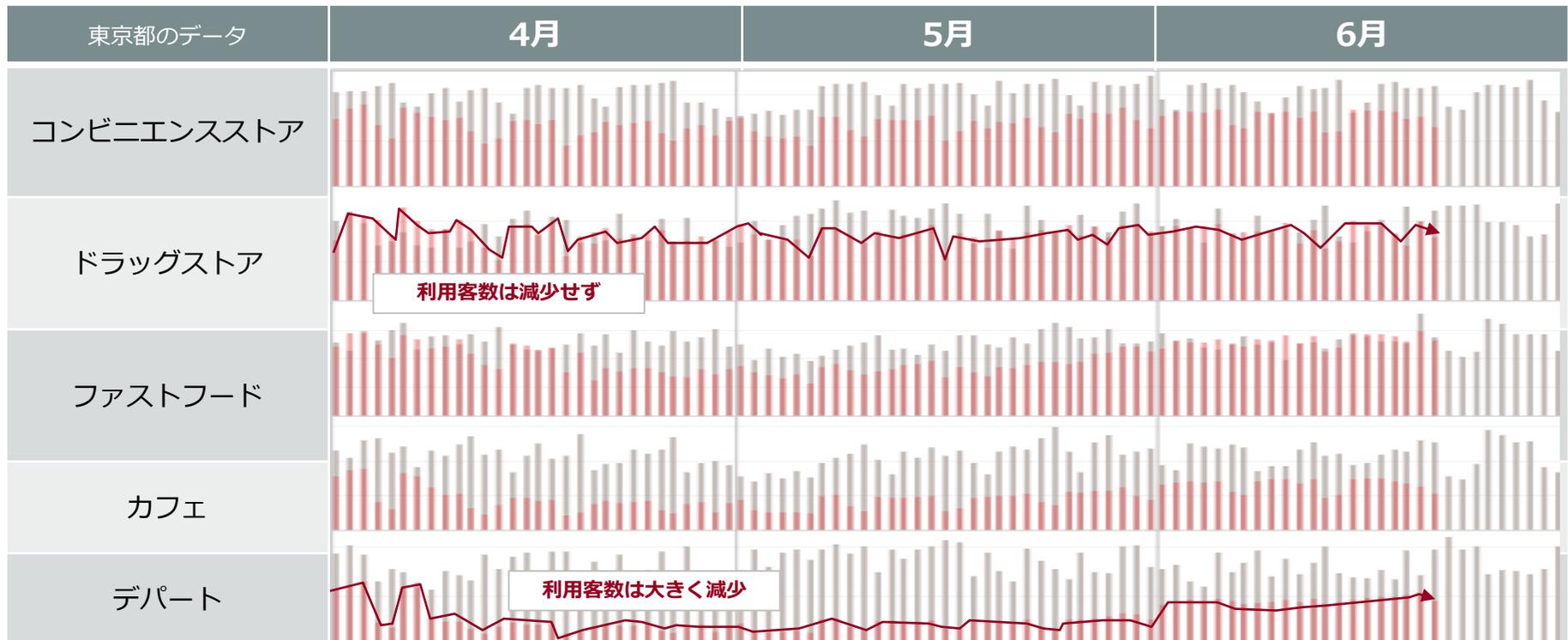
「Wi-Fi人口統計データ」を分析し、業界ごとの店舗利用動向を推計

新型コロナウイルスの感染拡大下、店舗利用者の状況を把握するため、各店舗で提供されているフリーWi-Fiの利用状況をもとに来店客数や営業状況を推測。コンビニエンスストア、ドラッグストア等の各業界の大手チェーンにより提供されているフリーWi-Fiのアクセス状況を業界ごとに合算し都道府県別に分析。

店舗利用者の2019年と2020年データ比較

カフェ、デパートにおける店舗利用客数が大きく減少。ウイルス対策によって需要が高まったと考えられるドラッグストアでは、昨年並みか昨年を上回る来店客数があったことがデータから読み取ることが出来る。

2019年 2020年



トピック2 Xactiのオリジナル新サービス



Xactiの建設現場 遠隔支援ソリューション

ウェアラブルカメラを利用した建設業界向け映像ソリューションサービス



ザクティの建設現場 遠隔支援ソリューション

ENNBA KANTOKU 遠場監督
映像による遠隔支援システムの決定版

離れた“現場”が目の前に!
複数の現場運営を効率的に監視
ブレない高画質映像でストレスのない現場指示や
サーバー録画による事後確認が可能

激しく動き回る現場作業者のカメラ映像が驚くほどブレない!
強力揺れ補正
ザクティ独自のエクスタライズ搭載
高耐久・小型軽量
高信頼性メカレス構造のラフ設計
防塵・防水
防塵防水IP65 / 5c-50c (凍結1cm以上)

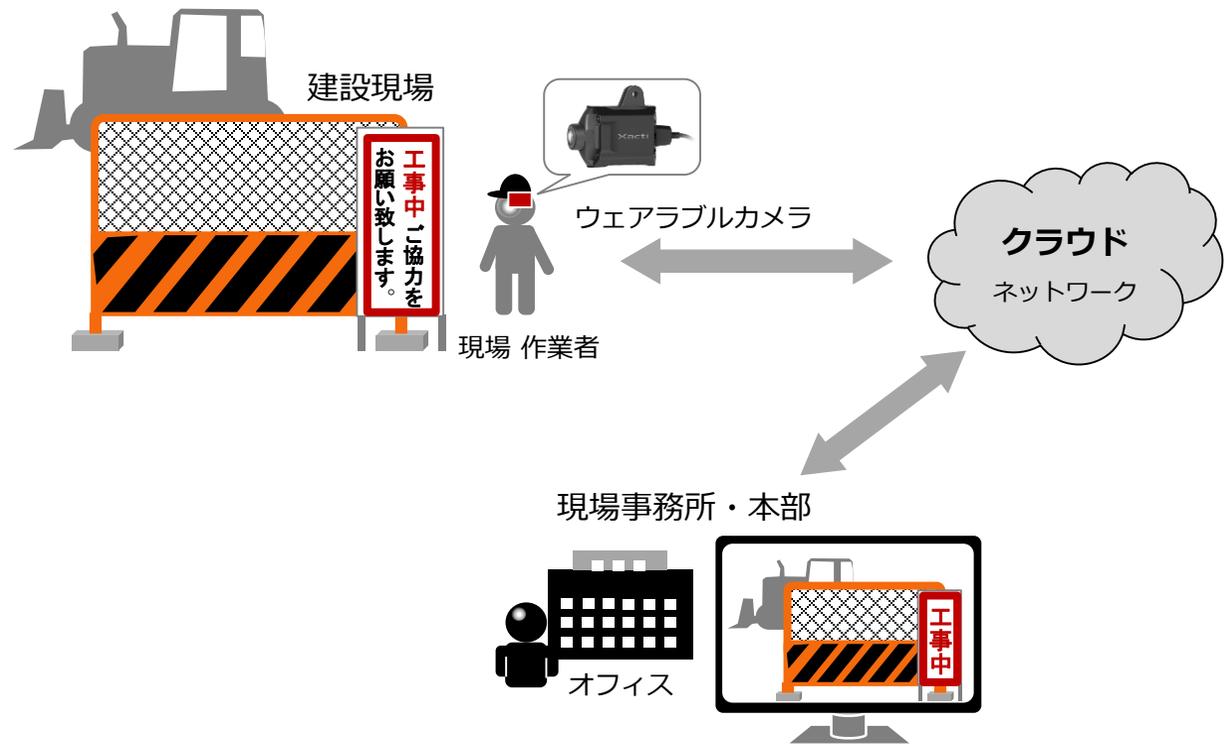
カメラ: チェストタイプ, ヘルメットマウント, ヘッドタイプ
マウント: ヘルメットマウント, ヘッドマウント
アクセサリ: 有線/Bluetoothイヤホン, ボーダブルLTE通信機, モバイルバッテリー, アームバンド, タブレット, スマートフォン

用途に合わせたパッケージング

Japan Asia Group **Xacti** 株式会社ザクティエンジニアリングサービス
大阪府大阪市北区大淀中1-1-88 豊田スカイビル 7階
お問い合わせ: support@xacti-co.com

「驚くほどブレない!」チモ動画
<https://xacti-co.com/products/wearable-camera/>

タブレット/スマートフォン(Android)、PCと接続し、リアルタイム映像出力



2021年3月期 通期見通しについて

2021年3月期の通期事業計画につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

黒字転換を果たすための基本戦略

業務用カメラを中心としたオリジナルブランド製品販売に注力

ウェアラブルカメラ



《2つの戦略で販売強化》

- ◆ サブスク型ソリューション販売
- ◆ プラットフォームパートナーへのカメラ販売

360°カメラ技術を活用

ウェブ会議用カメラ



建設現場向けカメラ開発中！

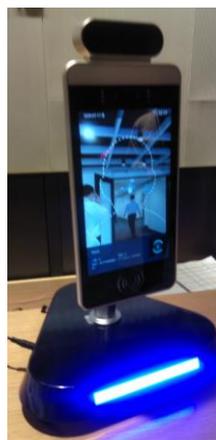
《Withコロナ時代に対応》

- ◆ 得意の360°全天周カメラを応用したウェブ会議多人数参加用カメラをタイムリーに提案
- ◆ 人手不足や現場の危険に対応した建設現場向けカメラを現在開発中！

NEDO 開発プロジェクト

「安全安心なドローン基盤技術開発」の助成事業（予算規模約6億円）にXacti参加のコンソーシアムが採択され、国産ドローンの高性能主要部品開発をXactiが担当。2021/2月までの事業期間に技術開発を推進。

NEDO=国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構



近日発売予定！

「非接触型の熱検知・AI顔認識カメラ」

「正常な体温です」
「体温が異常です」



- 30,000人の顔データを登録可能
- 0.2秒で测温！

グリーン・エネルギー事業の戦略



2つの事業で収益源を強化

JAG国際エナジー

エネルギー関連事業

地域創生関連事業

電源の多様化、国内・外での拡大



ポストFITとして、地域創生関連事業拡大

今後の再生可能エネルギー開発計画

(20/6月現在)

工事中と確保案件		太陽光着工・工事中案件	
再エネ (MW)		SW	MW
太陽光 (30.7)		延岡	2.4
風力 (6.9)		高森	1.9
バイオマス (75.0)		宇部	5.5
小水力 (0.1)		合計	9.8



府中調布まちなかエナジー

エネルギーによる地域活性化



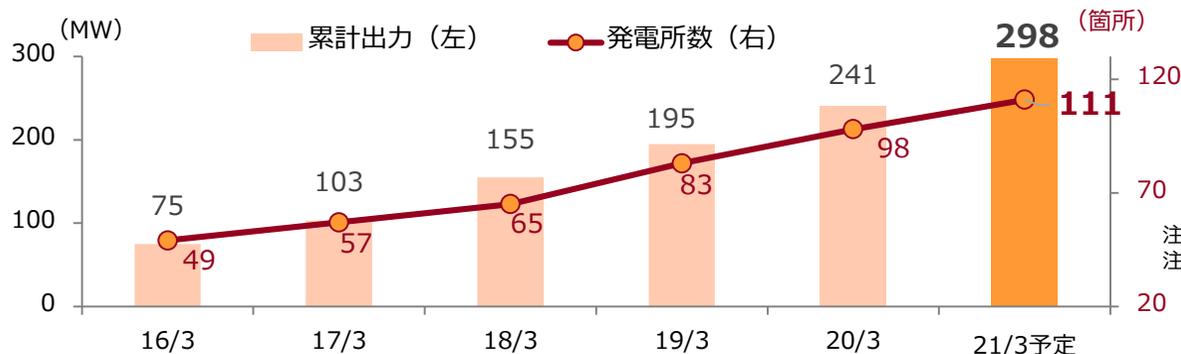
みよしエナジー株式会社
Miyoshi Energy Co., Ltd.

(徳島県東みよし町)



三郷ひまわりエナジー
(奈良県三郷町)

再エネ累計稼働出力/施設件数 の推移



注1) 開発計画 (予定) は様々な事情により竣工時期が前後する場合があります。
注2) 開発案件に加え、既存稼働施設 (セカンダリ案件) の買取りも検討しています。

JAGグループが目指す森林活性化バリューチェーン





「Save the Earth, Make Communities Green」

本資料に記載されている将来に関する記述および数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

お問合せ先： 日本アジアグループ株式会社

コーポレート・コミュニケーション部

TEL : 03-4476-8007

FAX : 03-3217-1810

E-mail : ir@japanasiagroup.jp

URL : <https://www.japanasiagroup.jp/>